

第3回サステナブルファイナンスアカデミー（アドバンスド）講義日程・講師紹介



<第一集中講義：全体テーマ「ETSとカーボンプライシング」>

月日	講義	講師	略歴
5月27日（水）	「EU・ETSとその新たな展開」	 藤井良広	一般社団法人環境金融研究機構代表理事。元上智大学地球環境研究科教授、元日本経済新聞経済部編集委員等。英オックスフォード大学、米コロンビア大学等で客員研究員等、ISO委員、SASBのWGメンバーなども歴任
6月3日（水）	「GX-ETSの概要と展開」	 有村俊秀	早稲田大学政治経済学術院 教授／経済産業研究所ファカルティフェロー。東京大学卒。筑波大学修士課程修了。ミネソタ大学博士（経済学）。上智大学教授等歴任。日経BPより「カーボンプライシングの経済分析：GX-ETSへの視座（仮）」を6月に出版予定。
6月9日（火）	「中国のETSの発展と展望」	 金振	IGES主任研究員（気候変動およびエネルギー領域）京都大学法学研究科・博士号取得、電力中央研究所、科学技術振興機構（JST）フェロー等を歴任。AI駆動型スマートデータベース構築にも力を入れており、ETS取引データ可視ツールの開発等にも取り組んでいる。
6月17日（水）	「アジアのカーボンプライシング」	 白井さゆり	慶應義塾大学総合政策学部教授。日本銀行元審議委員。アジア開発銀行研究所フェロー。アジア開発銀行と共同でAsian Policy Dialogue for Resilience and Prosperityを創設・展開

6月24日（水）	「米国の二つの ETS」	 楠本昭人	ブリックレイヤーアセットマネジメント社長兼チーフポートフォリオマネージャー。シティグループや K2 アドバイザーズ・ジャパンの CEO 等を歴任。カリフォルニア州のカーボンクレジット売買事業を展開
6月26日（金）	ディスカッション		

<第二集中講義：全体テーマ「エネルギー安全保障」>

7月1日（水）	エネルギー安全保障から見た脱炭素技術	 大場紀章	エネルギーアナリスト／ポスト石油戦略研究所代表。京都大学理学研究科博士後期課程単位取得退学。技術系シンクタンク・テクノバ等を歴任。ポスト石油時代のエネルギー安全保障や産業戦略等で提言活動
7月8日（水）	防衛の視点	 富川英生	防衛研究所政策研究部グローバル安全保障研究室長 1996年千葉大学卒、2003年東京大学大学院博士課程中退（経済学修士）。同年防衛研究所に入所。主任研究官、社会・経済研究室長を経て 2026年より現職。豪国防大、英シェフィールド大学東アジア研究科に留学（東アジア修士）。専門は経済安全保障、国防イノベーション、開発経済学等
7月15日（水）	再エネへの期待と課題	 飯田哲也	特定非営利活動法人環境エネルギー政策研究所(ISEP)所長。京都大学原子核工学専攻修了。東京大学先端科学技術センター博士課程満期退学。原子力産業に従事後に原子カムラを脱出し、北欧での再エネ政策研究活動後に現。著書に「Ei 革命～エネルギー知性学への進化と日本の針路」等。

7月22日（水）	原発はどこまで使えるか	 <p>宮崎知己</p>	<p>元朝日新聞記者。神戸大学卒。住友銀行入社を経て、朝日新聞に転じる。福島原発事故の爪痕をルポする長期連載「プロメテウスの罫」を担当し、日本新聞協会賞を受賞。現在、「宮崎知己の考えるラジオ」で情報を発信中。環境金融研究機構の記事も執筆</p>
7月29日（水）	エネルギー安全保障と「人新世」	 <p>齋藤幸平</p>	<p>東京大学大学院総合文化研究科教養学部准教授。ドイツのベルリン自由大学大学院哲学研究科で修士。フンボルト大学大学院哲学研究科で博士（哲学）。マルクス研究の最高峰「ドイッチャー記念賞」を日本人で初受賞。著書に『『人新世の「資本論」』（2020年集英社）、『人新世の『黙示録』』（2026年、同）</p>
7月31日（金）	ディスカッション		